

拠点名称：生物多様性・生態系と食料生産・感染症対策のトレードオフを解消するための昆虫科学共創拠点

代表機関	九州大学	プロジェクトリーダー	日下部宜宏 昆虫科学・新産業創生研究センター センター長
幹事自治体	福岡県	幹事機関	九大OIP株式会社
参画機関	北海道大学、鹿児島大学、長崎大学、山口大学、農業・食品産業技術総合研究機構 嘉麻市、一般社団法人日本環境衛生センター、大日本除虫菊株式会社、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、イカリ消 毒株式会社、鵬凶商事株式会社、共立製薬株式会社、KAICO株式会社、株式会社ベルシステム24、双日株式会社、株式 会社あつまる山鹿シルク、株式会社あつまるホールディングス、株式会社ジェヌインR&D、株式会社JDSC、三菱UFJリサーチ&コン サルティング株式会社、Beyond Next Ventures 株式会社		

プロジェクトの概要

気候変動や物流のグローバル化に伴い、地球環境・生物多様性は破綻しつつある。その大きな促進要因は、誰もが必ず求める食糧と健康への欲求であり、地球環境はそのような人類の要求の総和を満たせなくなっている。

このような危機的状況下において、国際的な生物多様性条約は、「人と自然の共生を目指して」を共通テーマとしている。環境問題の中でも特に多様性損失の重要性が広く認識され、その多くに昆虫が密接に関わっている。

本プロジェクトでは、「昆虫科学を複合的に利用」することにより、生物多様性、地球環境を損なわずに「人の幸せ、豊さ（多様なWell-being）」を実現できる持続可能な未来社会デザインと昆虫新産業の創生を目指す。拠点ビジョンを達成するために3つのターゲットを設定し、その社会実装システムの構築する。

- ① 生物多様性をより深く理解するための昆虫モニタリングシステムの構築
- ② 昆虫科学に根差したワンヘルスの実現
- ③ 持続可能な食糧生産の実現

